

2016年度冬季の電力需給について

経済産業省 中国経済産業局

2016年度冬季の電力需給は、厳冬となるリスクや直近の経済成長の伸び、企業や家庭における節電の定着などを考慮し、卸電力取引市場の活用等が行われることで、全エリアで電力の安定供給に最低限必要な予備率3%以上を確保できる見通しです。

中国エリアでは、予備率17.2%（12月）、15.9%（1月）15.0%（2月※）、21.9%（3月※）の見通しとなっています。

このことから、政府では、今冬における節電要請は見送る方針ですが、国民生活、経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で、引き続き節電・省エネに心がけていただくようお願いいたします。

※2月及び3月の見通しは、総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会電力・ガス基本政策小委員会がとりまとめた電力需給検証報告書から記載。

<2016年12月の電力需給見通し>

(万kW)	東日本 3エリア	北海道	東北	東京	中西日本 6エリア	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9エリア	沖縄
①最大電力需要	6,562	521	1,358	4,683	8,161	2,305	2,509	495	1,006	491	1,355	14,723	114
②供給力	7,408	604	1,454	5,350	8,906	2,376	2,720	536	1,179	537	1,558	16,314	166
②供給-①需要 (予備率)	846 (12.9%)	83 (16.0%)	96 (7.1%)	667 (14.2%)	745 (9.1%)	71 (3.1%)	211 (8.4%)	41 (8.3%)	173 (17.2%)	46 (9.3%)	203 (15.0%)	1,591 (10.8%)	52 (45.5%)

<2017年1月の電力需給見通し>

(万kW)	東日本 3エリア	北海道	東北	東京	中西日本 6エリア	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9エリア	沖縄
①最大電力需要	6,952	521	1,402	5,029	8,497	2,381	2,574	515	1,057	491	1,479	15,449	116
②供給力	7,470	606	1,515	5,350	9,215	2,456	2,813	569	1,225	542	1,610	16,686	165
②供給-①需要 (予備率)	518 (7.5%)	85 (16.2%)	113 (8.0%)	321 (6.4%)	718 (8.5%)	75 (3.1%)	239 (9.3%)	54 (10.5%)	168 (15.9%)	51 (10.4%)	131 (8.9%)	1,237 (8.0%)	48 (41.5%)

<2016 年度冬季の電力需給対策>

(1) 需給ひっ迫への備え

大規模な電源脱落等により、万が一、電力需給がひっ迫する場合への備えとして、以下の対策を行う。

- ① 発電所等の計画外停止のリスクを最小限にするため、電力会社に対して、発電設備等の保守・保全を強化することを要請する。
- ② 電力の安定供給を確保するため、電力広域的運営推進機関に対して、電力会社管内の需給状況を改善する必要があると認められる時は、他の電力会社に対し、速やかに融通を指示するなど必要な対応を講じることを要請する。
- ③ 電力会社に対して、デマンドリスポンス等、需要面での取組の促進を図ることを要請する。
- ④ 産業界や一般消費者と一体となった省エネキャンペーン等を実施するなど、2030年度に向けた、徹底した省エネの取組を進めていく。

(2) 追加的な需給対策の検討

政府は、厳寒による需要の急増や、発電所の計画外停止の状況等を不断に監視し、必要に応じて、更なる追加的な需給対策を検討する。

(3) ひっ迫に備えた情報発信

- ① 電力会社は、電力需給状況や予想電力需要についての情報発信を自ら行うとともに、民間事業者等(インターネット事業者等)への情報提供を積極的に行う。
- ② 上記の対策にもかかわらず、電力需給のひっ迫が予想される場合には、政府は「需給ひっ迫警報」を発出し、節電の協力を要請する。

＜中国経済産業局の取組＞

①「中国地域電力需給連絡会」メンバーとの情報共有

節電・省エネ関係の情報を提供するとともに、関係機関の連携・協力体制の確認。

＜連絡会の目的＞

原子力発電所の運転停止状態が継続している現状に鑑み、中国電力(株)管内の電力需給について関係者が情報の共有、意見交換を行い、必要に応じて的確な対応を迅速に実施する。

＜関係機関＞

中国経済産業局、中国5県、岡山市、広島市、中国経済連合会、中国電力(株)等

②節電・省エネ広報等

関係団体への節電協力依頼と省エネ要請(文書とメール等)、当局ホームページへの掲載、メルマガ配信、広報誌への掲載、省エネイベント等におけるチラシ配布などを実施予定。

＜説明＞

○中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議(11/16開催 広島市)

(参加者:中国経済産業局、中国四国地方環境事務所等関係省庁地方支分部局、中国5県、岡山市、広島市、経済団体、企業等)

○エネルギー・温暖化対策関係施策説明会(2月～3月予定 中国5県)

○エネルギー使用合理化シンポジウム(2/13開催 広島市)

○電力有効活用講演会(2/21開催 松江市、2/14開催 岡山市、2/15開催 周南市)

＜広報＞

○省エネ法に基づく特定事業者、自治体等(約1,000者)向けに「冬季の省エネ対策について」の要請文を送付。(11月中旬予定)

○広島合同庁舎の電光掲示板に表示。

○中国電気保安協会等広報誌に掲載。

○省エネルギー広報イベントの開催。(11/13開催 「松江市環境フェスティバル」)

【官邸HP】電力需給に関する検討会合

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/electricity_supply/

【経済産業省HP】冬季の省エネルギーの取組

<http://www.meti.go.jp/press/2016/10/20161028007/20161028007.html>

【省エネ支援総合ポータル】

<https://www.shoene-portal.jp/>

節電・省エネに関するお問い合わせ先

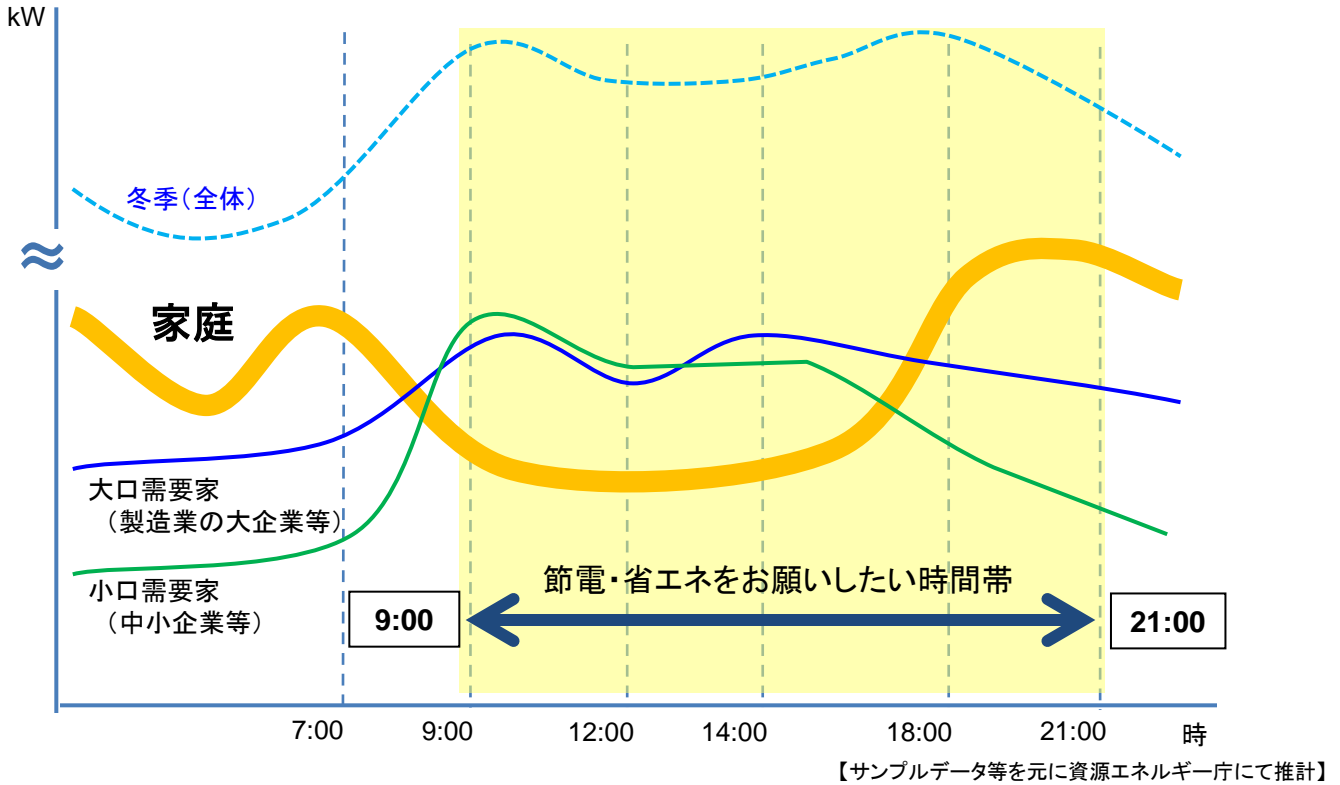
資源エネルギー環境部 電力・ガス事業課
エネルギー対策課

082-224-5736
082-224-5741

【参考】冬季の電力需要の特徴(大口需要家・小口需要家・家庭別の需要構造)

- ①大口・小口需要家の電力需要は、特に朝10時頃から最大ピークとなる傾向。
- ②家庭の電力需要は、夕方から夜にかけて最大ピークとなる傾向。

冬季平日の電気の使われ方(イメージ)

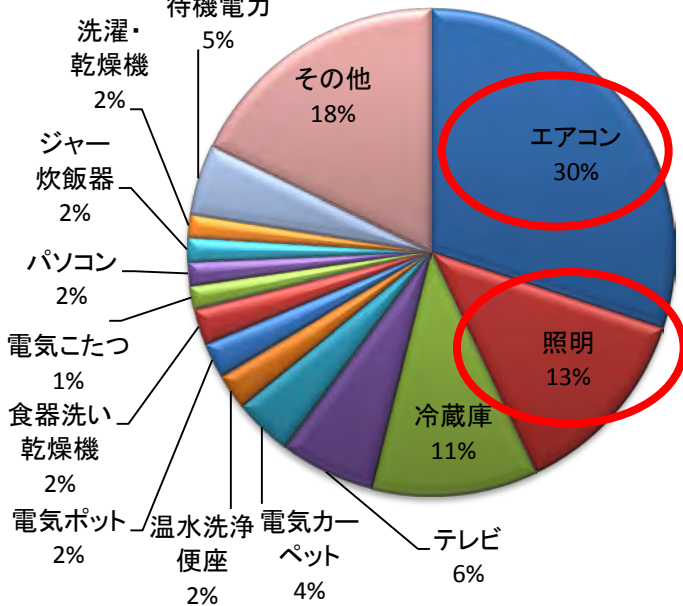


ヒーターよりエアコンの方が効率的。夕方に電気製品の使用が重ならないよう気をつけましょう。

空調、照明、OA機器で消費電力の約82%。これらの分野での節電が効果的です。

家庭における冬の夕方(19時頃)の消費電力

＜通常、エアコンを使用される家庭＞



オフィスビル(冬季ピーク時)の消費電力

